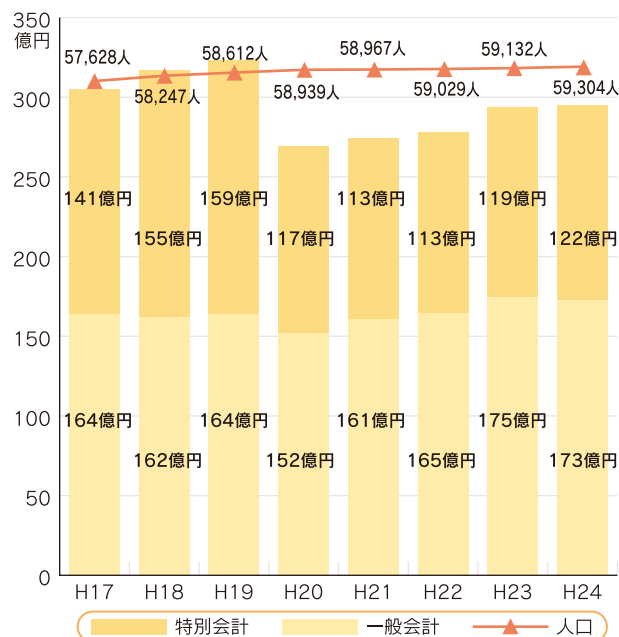


当初予算規模

◇一般会計	173億1,000万円(1.0%減)
◇特別会計	122億3,624万9千円(3.0%増)
(内 訳)	
・ 国民健康保険事業特別会計	60億4,068万1千円(2.4%増)
・ 後期高齢者医療特別会計	7億5,576万2千円(7.3%増)
・ 介護保険事業特別会計	保険事業勘定 32億266万2千円(3.4%増)
	介護サービス事業勘定 2,511万1千円(13.2%増)
・ 下水道事業特別会計	21億5,693万8千円(0.4%増)
・ 住宅新築資金等貸付事業特別会計	1,009万5千円(0.8%増)
・ 工業団地整備事業特別会計	4,500万円(新規)
◆予算総額	295億4,624万9千円(0.6%増)
※ () 内は前年度比増減率	

人口と予算の推移

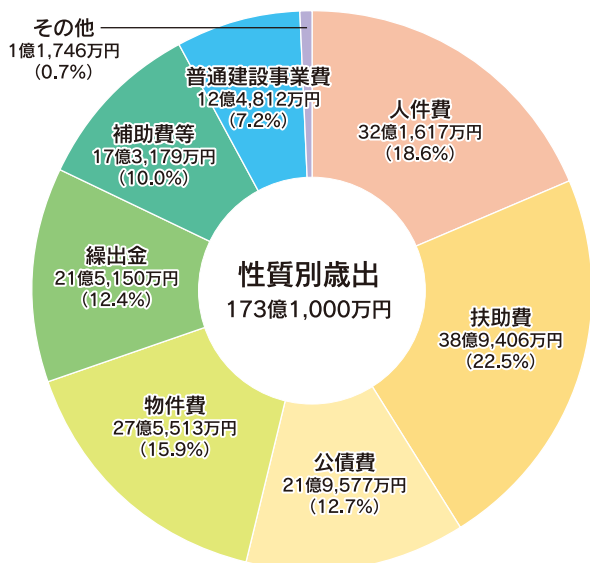
※一般会計当初予算が骨格予算の場合は、6月補正後(肉付け後)予算を使用(人口:各年度4月1日現在、ただし平成24年度のみ2月29日現在)



一般会計・歳出

●性質別歳出

義務的経費(支出が義務付けられ任意に削減できない経費、「人件費」・「扶助費」・「公債費」の合計)が、53.8%と全体の半分以上を占めています。

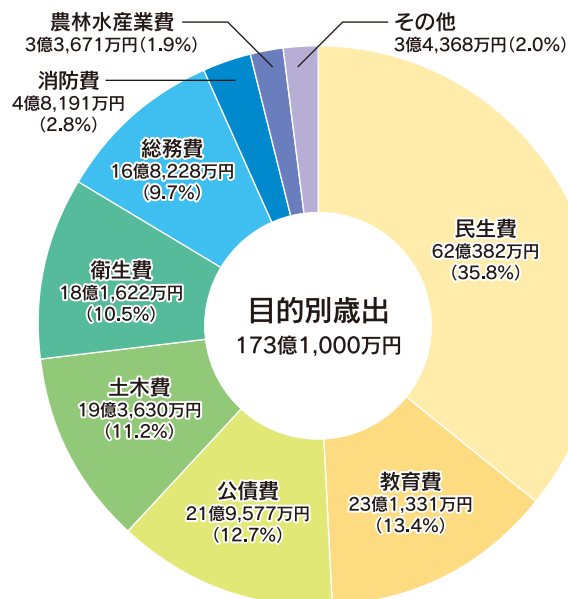


～性質別歳出～

- ◆人件費 職員や特別職の給与、議員および各種委員会委員の報酬に使うお金
- ◆扶助費 生活保護費、児童手当、医療費等に使うお金
- ◆物件費 委託料、光熱水費、備品購入費等に使うお金
- ◆繰出金 各特別会計に対する一般会計からの支出に使うお金
- ◆補助費等 団体への補助金や負担金に使うお金
- ◆普通建設事業費 道路・橋梁等の整備や公共施設の新設増改築等に使うお金

●目的別歳出

社会福祉や高齢者、児童福祉などに使われる「民生費」が3割以上を占めています。



～目的別歳出～

- ◆民生費 福祉全般の事務・事業に使うお金
- ◆教育費 小・中学校の運営費用や公民館、図書館等教育全般の事務・事業に使うお金
- ◆公債費 借入れたお金を返済するためのお金
- ◆土木費 都市基盤整備や道路、公園、河川等の維持管理・改良等に使うお金
- ◆衛生費 感染症予防、成人保健、母子保健や環境保全、ゴミ処理等に使うお金
- ◆総務費 課税徴収、選挙等市の総括的な事務に使うお金

平成24年度の予算と主な事業

平成24年度一般会計予算および特別会計予算が、3月定例議会において成立しました。

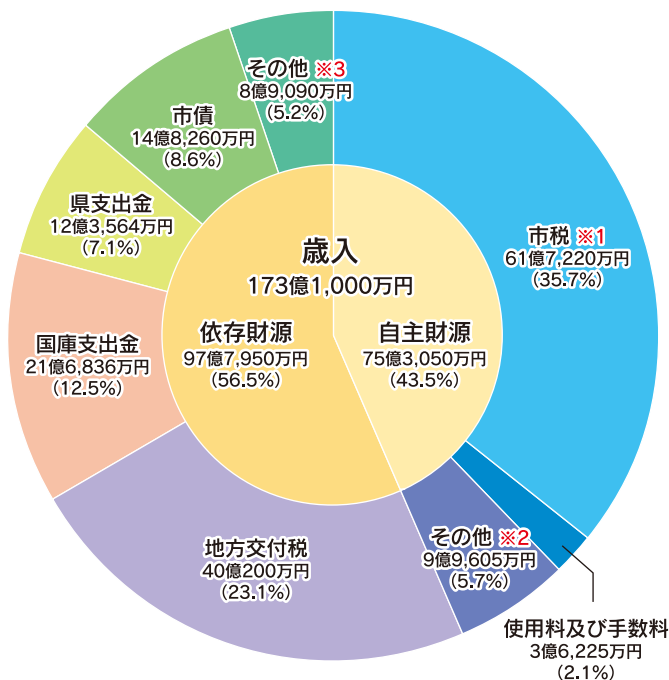
一般会計予算額は、173億1,000万円で、前年度の予算額174億9,000万円より、1.0%の減となりました。また、特別会計予算額は、122億3,624万9千円で、前年度の予算額118億8,060万円より、3.0%の増となりました。

地域防災計画策定や公共建築物の耐震診断など「安全で快適な都市機能・都市基盤づくり」のほか、緊急経済対策住宅改修補助事業、工業団地整備事業など「豊かな暮らしを支える活力ある産業づくり」に取り組むための予算を計上しています。

一般会計・歳入

歳入の根幹となる市税は、前年度(60億2,388万円)から2.5%の増となっており、地方交付税については、前年度(39億1,354万円)から2.3%の増となります。

また、市債は前年度(16億5,612万円)から10.5%減となりました。



※1 〈市税の内訳〉

- ・ 市民税 …………… 31億1,363万円
個人 …………… 27億2,795万円
法人 …………… 3億8,568万円
- ・ 固定資産税 …………… 24億6,639万円
- ・ 軽自動車税 …………… 9,218万円
- ・ 市たばこ税 …………… 5億円

※2 〈自主財源:その他の内訳〉

- ・ 分担金及び負担金 …………… 3億235万円
- ・ 財産収入 …………… 1,913万円
- ・ 寄附金 …………… 70万円
- ・ 繰入金 …………… 2億368万円
- ・ 繰越金 …………… 2億6,400万円
- ・ 諸収入 …………… 2億619万円

※3 〈依存財源:その他の内訳〉

- ・ 地方譲与税 …………… 2億3,800万円
- ・ 利子割交付金 …………… 3,500万円
- ・ 配当割交付金 …………… 1,110万円
- ・ 株式等譲渡所得割交付金 …………… 380万円
- ・ 地方消費税交付金 …………… 4億5,000万円
- ・ ゴルフ場利用税交付金 …………… 2,000万円
- ・ 自動車取得税交付金 …………… 7,000万円
- ・ 国有提供施設等所在
市町村助成交付金 …………… 800万円
- ・ 地方特例交付金 …………… 4,300万円
- ・ 交通安全対策特別交付金 …………… 1,200万円

◆市税

皆さんから市に納めていただいた税金(市民税・固定資産税等)

◆使用料及び手数料

あすてらすや運動公園などの使用料および、住民票などの手数料

◆地方交付税

国が徴収する税金の中から市の財政状況に応じて交付されるお金

◆市債

事業を行うために市が借入れるお金

◆自主財源

市税や施設の使用料など市が独自で調達するお金

◆依存財源

国・県などの意志により交付されるお金

◆特別会計

特定の歳入で特定の支出にあてて運営する会計

主な事業について

都市機能・都市基盤づくり

道路・交通網

- ・下町・西福童16号線整備事業

消防・防災

- ・消防施設整備事業
(第4分団消防ポンプ自動車買換え)
- ・地域防災計画策定事業
- ・公共建築物耐震診断
(市役所庁舎・隣保館・大崎教育集会所・小郡交流センター)
- ・自主防災組織支援事業



▲下町・西福童16号線

活力ある産業づくり

農業

- ・経営体育成支援 機械整備等支援事業

商業

- ・緊急経済対策住宅改修補助事業
- ・工業団地整備事業



▲水田農業担い手機械導入支援事業

居住環境づくり

環境

- ・住宅用太陽光発電システム設置補助金の拡充

下水道

- ・公共下水道整備事業
(下岩田・稲吉・東福童・八坂・松崎地区)

健康と福祉づくり

福祉

- ・児童手当支給事業

子育て支援

- ・養育支援訪問事業

保健

- ・満天の湯露天風呂設置事業



▲満天の湯(あすてらす)

教育と地域文化づくり

学校教育

- ・スクールソーシャルワーカーの拡充
- ・小学校大規模改造事業(大原小・三国小)

文化活動

- ・文化会館大ホール舞台音響設備改修事業



▲文化会館大ホール

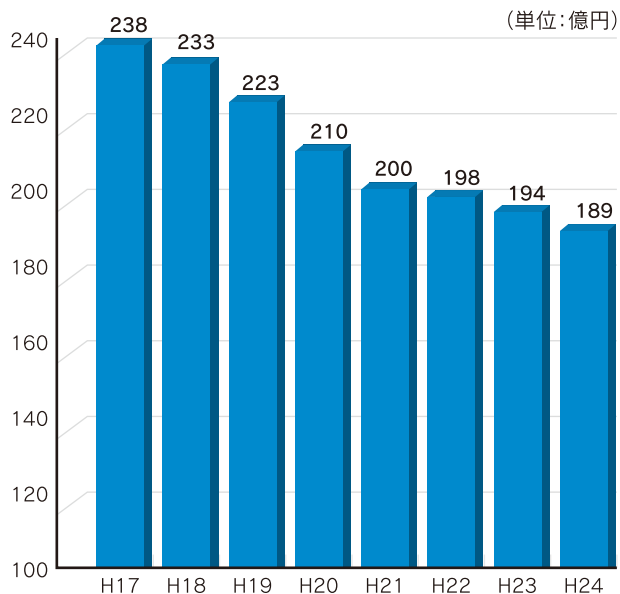
地域自治体制づくり

行財政運営

- ・コンプライアンス体制の推進

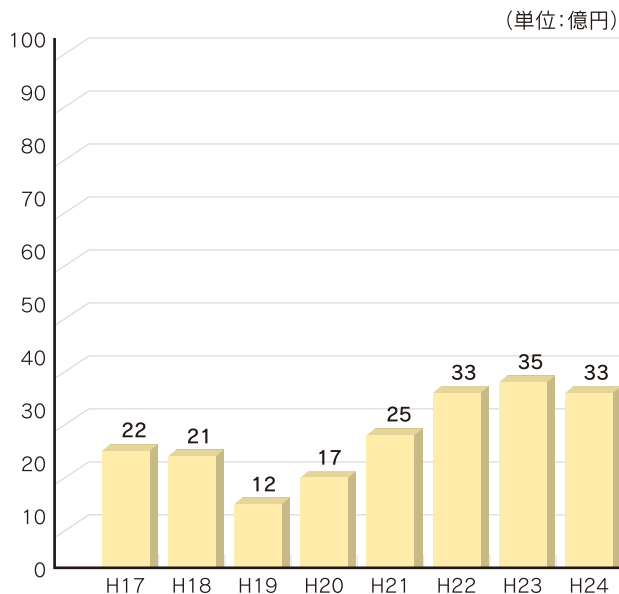


市債残高の推移（一般会計）



平成17年度が、238億円と残高のピークでしたが、現在は毎年の発行額を抑えて残高を減らし、財政の健全化を図っています。

基金残高の推移（一般会計）



基金とは、市の貯金にあたるものです。平成20年度から22年度にかけて積み立てを行いましたが、24年度は約2億円を取り崩すため24年度末の残高は33億円となる見込みです。

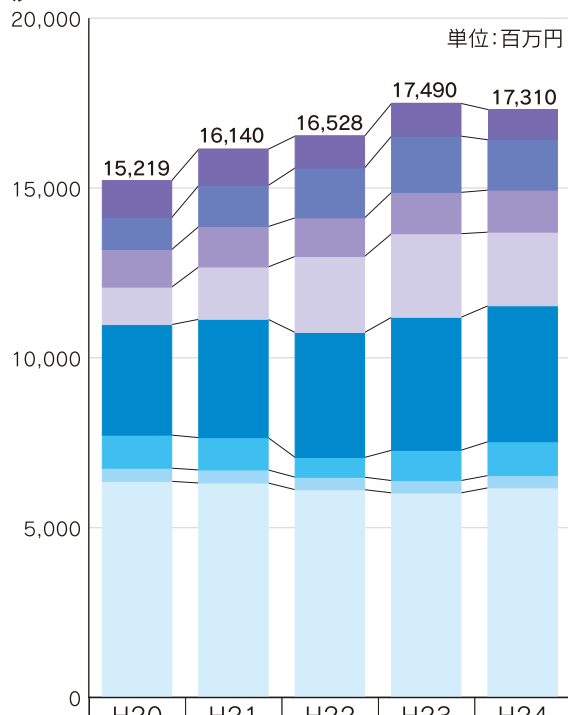
平成24年度の
予算と主な事業

予算の推移 (内訳)

歳入では市税及び地方交付税が増えています。歳出では医療費、生活保護費などにあたる扶助費と各特別会計への繰出金が増えています。

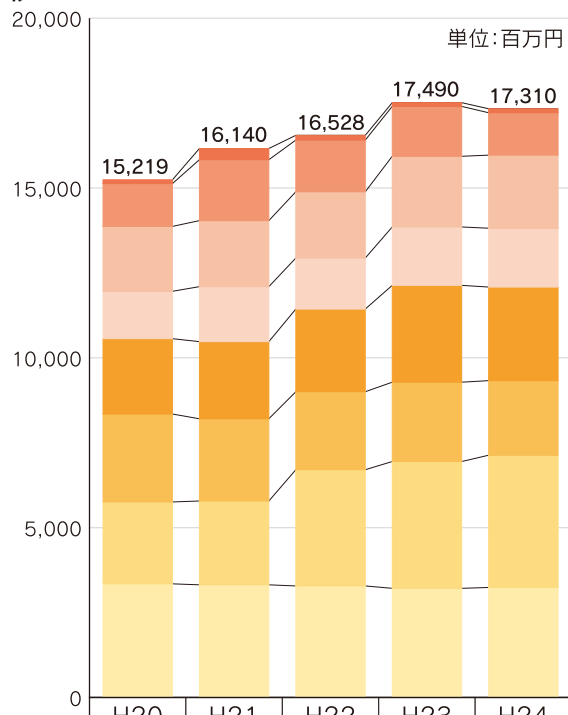
※一般会計当初予算が骨格予算の場合は6月補正後(肉付け後)予算を使用

〔歳入〕



	H20	H21	H22	H23	H24
■ その他(依存財源)	1,088	1,067	938	963	891
■ 市債	942	1,209	1,470	1,656	1,483
■ 県支出金	1,106	1,188	1,135	1,217	1,236
■ 国庫支出金	1,104	1,543	2,239	2,462	2,168
■ 地方交付税	3,255	3,483	3,679	3,914	4,002
■ その他(自主財源)	974	951	582	892	996
■ 使用料及び手数料	387	384	368	362	362
■ 市税	6,363	6,315	6,117	6,024	6,172

〔歳出〕



	H20	H21	H22	H23	H24
■ その他	112	330	140	110	117
■ 普通建設事業費	1,260	1,793	1,522	1,469	1,248
■ 繰出金	1,911	1,944	1,951	2,081	2,152
■ 補助費等	1,395	1,619	1,502	1,719	1,732
■ 物件費	2,218	2,271	2,434	2,851	2,755
■ 公債費	2,589	2,421	2,296	2,336	2,196
■ 扶助費	2,411	2,468	3,422	3,733	3,894
■ 人件費	3,323	3,294	3,261	3,191	3,216